

		教育に関する事務の点検・評価報告書平成29年度				第4次総合計画の事務事業評価					
		H28	H29	事業概要	自己診断（平成29年度）	総合評価	必要性	事務事業の方針	支出の方向性	担当課名	総合計画での事業名
学力向上の取組みの推進	いきいき英語推進事業	4	4	小学校低学年から中学校3年生までの各学年での発達段階を踏まえた、効果的な外国語活動および英語指導のあり方やカリキュラムの研究を通して、自分の考え又は意見を主体的に、英語を用いてコミュニケーションしていこうとする意欲のある児童・生徒を育成する。	○進んで英語を話そうとする姿勢がみられる ○英検4級合格率の上昇 ○高いレベルの級を受験意欲の増加 ●小中学校英語担当とALTとのチームティーチングの実施 ●教科化に向けた指導計画や評価基準の策定	Ⅱ	ある	現状維持	横ばい	教育推進課	いきいき英語推進事業
	総合的教育力推進事業	4	4	小中学校の図書室に司書的な役割の人材を配置することで、読書に親しむ機会を増やす等、図書教育の充実を図る。	○学校図書館へ通う子どもの増加	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	教育推進課	総合的教育力推進事業
	特色・個性化教育推進事業	4	4	児童・生徒の生きる力を育むために、教職員の資質・指導力の向上を図るための効果的な研修を進める。	○学力向上アクションプランでアンケート集計結果を学力向上の取組みを各校で行う ○1校当たり102.5回の校内研究が行われている	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	教育研修センター	地域の人材・施設等の活用推進事業
		3									
	情報教育推進事業	4	4	教育の情報化に対応するため、情報機器を積極的に活用し、情報教育を充実させることを目的とする。そのために、研修の実施や指導資料の作成を進め、教職員の技能や指導力の向上を図る。	○タブレットをグループに1台、もしくは1人1台活用した授業づくりのワーキンググループで研究を行った ○4つの模擬授業、3つの公開授業を行った ○情報教育推進会議の取組みを全教職員に情報発信した	Ⅲ	ある	現状維持	横ばい	教育研修センター	情報教育推進事業
3		3									
放課後学習等サポート事業	4	4	児童・生徒の放課後やげんき塾等における学習指導の推進を支援するため、学習支援アドバイザーとして、学生ボランティア・地域人材を派遣する。	○げんき塾等を活用して基礎基本の定着と自学自習力の育成と家庭学習習慣の取組みを積極的に実施した	Ⅱ	高い	現状維持	横ばい	教育研修センター	放課後学習等サポート事業	
豊かでたくましい人間性の育み	就学支援事業	5	4	市内の小中学校に在籍している児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズや本人及び保護者の意向に基づき、就学における支援体制、教育内容等専門的立場から協議し、支援教育の推進を図る。	○就学相談の機会の提供 ○個々の教育ニーズに合った支援体制を整えた	Ⅱ	高い	現状維持	横ばい	教職員課	就学支援事業
	支援教育運営事業（小学校）（中学校）	4	4	インクルーシブ教育をめざして、市立小中学校において、支援が必要な児童・生徒に対して、支援員を配置し、学習支援や学校行事参加への援助、安全確保等を行う。	○支援が必要な児童生徒に対して教育支援員及び介助員を配置した ●学校内での情報共有や連携などより充実した支援体制を図る	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	教職員課	支援教育運営事業
	医療的ケアを要する児童生徒への看護師配置事業（小学校）	5	5	医療的ケアを要する児童・生徒の市立小中学校への就学の機会を拡充し、より安全な学校生活や教育活動を保障するなど、教育条件の充実を図る。	○看護師、教育支援員、介助員の配置により安心して学校生活を送るようになった	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	教職員課	支援教育運営事業
	要保護及び準要保護児童生徒援助事業（小学校）（中学校）	4	4	要保護及び準要保護家庭の児童・生徒への学用品等の援助を行う。	○就学が困難な児童生徒に必要な援助を行った	Ⅲ	高い	縮小	減額	教職員課	児童・生徒就学援助事業
	支援教育就学奨励事業（小学校）（中学校）	4	5	支援学級等に在籍する児童・生徒等への学用品費等の援助を行い、支援教育の充実を図る。	○支援学級等に在籍する児童生徒に学用品の援助を行い、支援教育の充実を図った	Ⅲ	高い	縮小	減額	教職員課	児童・生徒就学援助事業

豊かでありたい人間性の育み	人権教育推進事業	4	4	人権教育に関する研修・研究等の充実により、教職員の人権意識の向上・資質向上に努める。	○研修会を通じて人権感覚の向上を図った ○子どもを大切にしたい集団作りができた ○ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業や保育を推進することができている	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	教育推進課	人権教育推進事業
	児童・生徒ハートサポート推進事業	4	4	スクールサポーター（教育活動支援員）を小中学校に派遣し、いじめの早期発見、早期対応および未然防止等、総合的な対策を図る。	○認知されたいじめについて全て解消が図られた	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	教育推進課	児童・生徒ハートサポート推進事業
	支援教育推進事業	4	4	障がいのある幼児・児童・生徒の社会参加と自立をめざす教育の一層の充実と、支援を要するすべての子どもたちに対して適切な教育的支援の充実を図るために、幼稚園、小学校、中学校における支援体制の整備を進める。	○ユニバーサルデザインの視点にたった学校全体としての取組みを継続させ、幼小中の系統性のある連携を意識していく	Ⅱ	高い	拡充	増額	教育推進課	支援教育推進事業
	国際化教育推進事業	5	5	小学校外国語活動の充実と中学生の英語コミュニケーション能力の育成をめざし、小学校英語指導協力員・外国語指導助手を配置するとともに、国際的な視野を広げるため、台湾台北市との教育交流の推進を図る。	○台湾台北市文山区との交流をはじめ諸外国への関心を高め、国際感覚豊かな人材の育成を図れた	Ⅱ	高い	拡充	増額	教育推進課	国際化教育推進事業
	児童・生徒理解（心の教育）推進事業	4	4	児童・生徒理解と心の教育を充実させるため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等による教育相談活動を行う。また、不登校児童・生徒の支援のため、教育支援センター事業を推進する。	○スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを全小中学校に派遣することができた ○チャレンジルームに通う児童・生徒の学校復帰の支援や高校進学の実現を行った	Ⅲ	ある	現状維持	横ばい	教育研修センター	スクールカウンセラー等派遣事業
	教育アドバイザー配置事業（幼稚園）	4	4	市立幼稚園の特色ある取組みの推進、教職員の指導力向上のために、退職教員等を配置し、継続的・日常的な指導・支援を行い、幼稚園教育の充実を図る。	○経験年数の短い教員等のアドバイスや指導を行い、即実践できること、時間をかけて成長を促すことなど整理しながら指導に当たることができた	Ⅲ	高い	現状維持	減額	教育研修センター	教育アドバイザー配置事業
	特色・個性化教育推進事業（幼稚園）	4	4	園児の生きる力を育むために、教職員の資質・指導力の向上を図るための効果的な研修を進める。	○「あいさつ、返事、履物の片づけ」について統一的な取組みを行うことで、教職員が年間の目標を明確にした指導を行うことができた	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	教育研修センター	教職員研修推進事業
	児童・生徒理解（心の教育）推進事業（幼稚園）	4	4	園児の心の教育を充実させるため、キンダーカウンセラーを拠点園に配置し、保護者や教職員保育相談活動を行う。	○キンダーカウンセラーを四つ葉幼稚園に配置し、子育てや指導方法に不安のある保護者や教職員の相談に継続して行い、心のケアを行うことができた	Ⅲ	ある	現状維持	横ばい	教育研修センター	スクールカウンセラー等派遣事業
	公立幼稚園園庭開放事業	5	4	保護者の子育て負担軽減等を目的として、全公立幼稚園において月に数日の園庭開放日を設け、幼稚園や保育所に所属していない就学前の子どもを対象に園庭等を開放する。	○利用者の数は前年比109%となった ●幼稚園によって利用者数のばらつきがある	なし（総合計画に記載なし）			子ども未来室	なし（総合評価に記載なし）	

開かれた学校園づくりと安心・安全な学校園づくりの推進	教育用ネットワーク事業	3	5	インターネット・教育用ネットワーク及び普通教室でのタブレットパソコン・電子黒板等を活用した各学校園の情報教育のより一層の充実・発展を図った。	○個人情報を取り扱う校務用と授業などに活用するネットワークの2つに分け、情報の漏洩を防いでいる。 ●災害時の対応について検討	Ⅱ	高い	拡充	増額	教育総務課	教育用ネットワーク事業
	小学校トイレ改造事業	5	5	老朽化して悪臭がする松原南小南館1階35㎡・布忍小西館3階35㎡・河合小本館南館2階44㎡・恵我南小西館4階48㎡計4校の児童用トイレの改修を行い、併せて要望の多い洋式トイレを設置してトイレの環境改善に努めた。	○松原小、松北小、恵南小のトイレを整備 ●学校全体の整備計画が必要	Ⅲ	高い	現状維持	増額	教育総務課	大規模改造事業
	市立小学校セフティスクールサポート事業	3	5	全小学校に管理員を配置し、入校者の受付対応を行うことにより、市立小学校の安全環境を確保した。	○校門に管理員を配置し、不審者対策を行った	Ⅱ	高い	現状維持	現状維持	教育総務課	市立小学校セフティスクールサポート事業
	学校給食センター運営事業	5	5	学校給食センターを安全かつ衛生的に管理し、給食業務の円滑な運営を図る。		Ⅰ	高い	現状維持	増額	学校給食課	学校給食センター運営事業
	学校給食業務事業	4	4	児童に安心・安全な小学校給食を提供する。	○児童生徒に安心・安全な給食の提供を行った	Ⅰ	高い	拡充	減額	学校給食課	小・中学校給食業務事業
	中学校給食事業	4	4	生徒に安心・安全な中学校給食を提供する。		Ⅰ	高い	拡充	減額	学校給食課	
	セーフスクール推進事業	3	5	国際認証をめざし、(体及び心の)ケガ及びその原因となる事故、いじめ暴力を予防することによって、安全で健やかな学校づくりを進める松原らしいセーフスクールの活動を市民との協働で取り組んでいく。	○松原第三中学校区においてインターナショナルセーフスクール(ISS)の国際認証を取得することができた。また第四中学校、第七中学校区も認証取得に向けた取組みを進めている ●ISSの取組みを充実させるため市内全域にISSの取組みの成果を広く発信していく必要がある	Ⅰ	高い	拡充	増額	教育推進課	セーフスクール推進事業
	「子どもの安全見守り隊」事業	4	4	保護者や「子ども安全見守り隊」などが学校支援のボランティア、地域の関係団体などの協力を得て、登下校時などにおける校区巡視を進めている。また、地元警察などの関係機構と連携し、危険箇所における安全対策など、一層の安全確保に努めている。	○「子どもの安全見守り隊」の登録件数については前年より増加しており、地域の協力と理解を得ながら子どもたちの安全確保を行うことができた ●見守り隊の高齢化など課題であり、引き続き啓発活動を行う必要がある	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	地域教育課	危機管理体制充実事業
公立幼保連携型認定こども園整備事業	4	4	「子ども・子育て支援新制度」の趣旨を踏まえ、幼保の一体化により、幼稚園と保育所の機能を兼ね備えかつ子育て支援にも力を注ぐ「幼保連携型認定こども園」を基本モデルとして整備を行う。	○幼稚園保育所の人事交流を行った ○認定こども園教育保育カリキュラムを作成した ○認定こども園の勉強会を6回行った ●幼稚園・保育所職員で準備会を行う予定	なし(計画策定時に制度なし)			子ども未来室	なし(計画策定時に制度なし)		
学校園運営体制の充実と教職員の資質向上	教育アドバイザー配置事業(小学校・中学校)	4	4	児童・生徒の学力向上の取組みの推進と教職員の指導力向上のため、退職校長等を配置し、継続的・日常的な指導・支援に努め、学校教育の充実を図る。	○経験年数の短い教員のアドバイスや指導を行い、即実践できること、時間をかけて成長を促すことなど整理しながら指導に当たることができた ●大量退職、大量採用のピークが過ぎ、今後の在り方について検討が必要	Ⅲ	高い	現状維持	減額	教育研修センター	教育アドバイザー配置事業
	特色・個性化教育推進事業	4	4	児童・生徒の生きる力を育むために、教職員の資質・指導力の向上を図るための効果的な研修を進める。	○キャリアステージに応じた研修や教育課題に合わせた研修を行った	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	教育研修センター	特色・個性化教育推進事業
	公立幼稚園に関する情報発信事業	3	3	全公立幼稚園について、幼稚園だよりやホームページを活用し、幼稚園情報の積極的な発信を行っていく。	●幼稚園間で掲載内容の差がなく、保護者が見てわかりやすいホームページを目指す	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	教育研修センター	情報教育推進事業

地域の総合的な教育力の向上を目指した事業の推進	いきいき事業	4	4	地域教育協議会を核とした、各中学校区フェスタをはじめとする地域の教育力向上のための様々な活動を支援し、教育コミュニティの推進を図る	○教育コミュニティづくりとして地域教育協議会で様々な取組みを行った	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	地域教育課	地域教育コミュニティ作り推進事業
	「子ども110番の家」運動事業	4	4	保護者や「子ども安全見守り隊」などが学校支援のボランティア、地域の関係団体などの協力を得て、登下校時などにおける校区巡視を進めている。また、地元警察などの関係機構と連携し、危険箇所における安全対策など、一層の安全確保に努めている。	○「子どもの安全見守り隊」の登録件数については前年より増加しており、地域の協力と理解を得ながら子どもたちの安全確保を行うことができた ●見守り隊の高齢化が課題であり、引き続き啓発活動を行う必要がある	なし（市単独事業ではないので評価せず）				地域教育課	なし（市単独事業ではないので評価せず）
	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動の促進事業	4	4	市内小中学校を支援すると同時に、地域の教育力向上と地域の活性化のため、地域住民等の参画による、学校支援地域本部事業、おおさか元気広場、家庭教育支援事業を実施する。	○地域と学校との連携のもと土曜体験活動等事業を実施した	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	地域教育課	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動の促進事業
	社会教育振興事業	4	4	就学前の家庭教育の大切さについての啓発や、各学校園での保護者への家庭教育研修会など、学習機会の提供と充実を図る。	○親学習教材を活用し情報提供を行った	Ⅱ	ある	現状維持	横ばい	地域教育課	社会教育関係団体振興事業
	小学校施設開放事業	3	3	小学校施設の一部を地域住民に開放し、地域のコミュニティづくりを促進する。	●使用団体のルールの徹底が課題である	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	地域教育課	既存施設の活用事業
	中学校体育施設開放事業	3	3	中学校施設の一部を地域住民に開放し、市民のコミュニティの醸成を促進する。	●クラブや学校行事との兼ね合いで校庭開放日が少なかった	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	地域教育課	
青少年の健全育成の推進	青少年指導員等関連事業	4	4	青少年の健全育成を図る、各協議会を補助、活動を推進する。	○青少年の健全育成を図る団体に支援を行い、豊かな心を育む環境づくりを進めた	Ⅲ	ある	現状維持	横ばい	地域教育課	青少年育成関連事業
	児童自己防衛力育成事業	4	4	青少年の健全育成を図るため、関係団体が集まり情報交換を行い、取り組みに活かしていく。		Ⅱ	ある	現状維持	横ばい	地域教育課	危機管理体制充実事業
	少年自然の家管理事業	4	4	指定管理者制度の導入により、幼児から大人までの利用者サービスの向上に努め、豊かな自然環境の中で、学校関係団体や社内研修の企業団体等に対して、多彩なプログラムを行う。	○新たなプログラムを充実させ、また夏休み期間中の休館日も開館させたことにより利用者が増加した ●閑散期と繁忙期の利用者の差が激しく、閑散期の対策が必要	Ⅱ	ある	現状維持	横ばい	いきがい学習課	少年自然の家管理事業

注	総合評価	必要性
自己診断	Ⅰ 問題なしより拡充を	高い：法令等で決められている
○は評価できるもの	Ⅱ 概ね良好。さらに工夫を	ある：法令等の規定はないが必要である
●は今後の課題	Ⅲ 有効性。・効率性の向上を	

		教育に関する事務の点検・評価報告書平成29年度				第4次総合計画の事務事業評価					
		H28	H29	事業概要	自己診断（平成29年度）	総合評価	必要性	事務事業の方針	支出の方向性	担当課名	総合計画での事業名
市民協働の仕組みづくり	地域・家庭の教育力向上事業	4	4	様々な知識や技術や特技、豊かな経験を有する市民に対して、ボランティアとして活動できる人を募集・登録し、地域・学校・各種サークル活動等と生涯学習の場で学習活動や体験活動の指導者・支援者として活動できるよう支援する。	○公民館の既存のサークルに登録のチラシを配布、新規登録者の増加になった ●学習体験や体験活動の場で指導者として活動できるよう、活動場所の確保を図る	Ⅱ	ある	現状維持	横ばい	いきがい学習課	生涯学習事業
	「子どもの安全見守り隊」事業（再掲）	4	4	保護者や「子ども安全見守り隊」などが学校支援のボランティア、地域の関係団体などの協力を得て、登下校時などにおける校区巡視を進めている。また、地元警察などの関係機関と連携し、危険箇所における安全対策など、一層の安全確保に努めている。	○「子どもの安全見守り隊」の登録件数については前年より増加しており、地域の協力と理解を得ながら子どもたちの安全確保を行うことができた ●見守り隊の高齢化が課題であり、引き続き啓発活動を行う必要がある	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	地域教育課	危機管理体制充実事業
	「子ども110番の家」運動事業（再掲）	4	4	市内全域で統一したプレートを使用。子どもたちがトラブルに巻き込まれそうになった場合に安心して家庭や事業所などに駆け込むことができる場所を提供し、安全を確保できるようにするとともに、犯罪の防止効果も期待している。	○地域の協力のもと登録件数がの伸びている	なし（市単独事業ではないので評価せず）				地域教育課	なし（市単独事業ではないので評価せず）
生涯学習の充実と「智の拠点」づくり	地域・家庭の教育力向上事業	4	4	思春期の子どもを持つ親向けの子育て講座のほか、講座受講後、公民館講座のボランティアとして活動できるような学びの機会を提供し、地域活動への参加のきっかけをつくる。	○講座受講後公民館ボランティアとして活動できる場を作り、市民と協働で講座を作り上げることができた	Ⅱ	ある	現状維持	横ばい	いきがい学習課	生涯学習事業
	地域の仲間づくり事業	4	4	様々なテーマの体験講座を開催し、学習活動と共に仲間づくりの場を提供し、サークルの立上げの支援を行う。	○仲間づくりに視点をのいた講座を開催し、新たなサークルが2つできた	Ⅲ	ある	現状維持	横ばい	いきがい学習課	地域の仲間づくり事業
	市民文化祭事業	5	4	市民文化祭を開催する。	○地域社会における文化の向上と交流を図ることができた	なし（文化発表会なので評価せず）				いきがい学習課	なし（文化発表会なので評価せず）
	図書貸出事業	3	3	本館と分館による資料の貸出を行う。所蔵資料のみでなく全国に広がるネットワークを利用し希望する資料を借り受け提供するなど、市民の要求に基づく資料・情報の提供を行う。	○児童書の児童1人当たりの貸出冊数が増えた ●市民1人当たりの貸出資料数は減少している						
	障害者サービス事業	4	4	視覚障害者へのサービスとして、利用者が希望する録音図書の貸出を行う。希望する録音図書が全国の点字図書館・公共図書館にないものをボランティアが製作しているが、そのボランティアのサポートも行う。また、来館が困難な人に本を届ける宅配サービスも行うなど、図書館利用が困難な人への支援を行う。	○録音図書を17点新たに作成し、貸出についても前年の1.5倍になった。	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	市民図書館	図書館サービス事業
	だっこだえほん事業	4	4	赤ちゃんと保護者に、絵本を介してあたたかいふれあいの時間を提供することと、将来の読書への導入を目的として、絵本の読みきかせや、本の紹介を定期的に行う。また、ボランティアの養成のために勉強会やスキルアップ講座も開催する。	○乳幼児向けの行事を定期的で開催し、それを支えるボランティアの養成も行った						

生涯学習の充実と「智の拠点」	絵本とおはなし講座事業	4	4	絵本や物語の楽しさを伝えるため家庭や学校で子どもに本を読んでもらえる大人を対象とした事業。絵本の研究家や作家による講演会などを行う。また、おはなし会に関わるボランティアの養成を行う。	○図書館や学校での読み聞かせ等を実施するボランティアの養成とスキルアップ講座を実施した	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	市民図書館	図書館サービス事業
	学校との連携事業	3	4	小学3年生を対象とした図書館見学や、中学生の職業体験の受入れを行う。また、調べ学習用の本の用意や団体貸出で図書室の充実を図り、子どもの読書に関わる支援を行う。	○小学校3校にオリエンテーションを行い、図書館の利用の仕方について説明したり、幼稚園でのおはなし会を実施した					市民図書館	
	かわちもめん発行事業	4	4	図書館広報誌「かわちもめん」を隔月で発行し、図書館の行事予定についてPRする。また、松原市広報、ホームページ、フェイスブックなどを活用し広報活動を行う。	○隔月発行の広報誌を発行し、ホームページやフェイスブックなどの利用で図書館のPRを行った					市民図書館	
市民のスポーツ文化の醸成	市民体育館管理事業	5	4	指定管理者制度の導入により、市民ニーズに応じた幅広いプログラムの提供やトレーニング室の充実を図り、市民のスポーツ活動を支える施設運営を行う。	○指定管理者制度により利用者のマナー向上や多数の自主事業等市民のニーズに合った事業を展開した	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	いきがい学習課	市民体育館管理事業
	市民道夢館管理事業	5	4			Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	いきがい学習課	市民道夢館管理事業
	市民スポーツ自主事業	5	4	市民が生涯にわたってスポーツに親しめるように、体育協会との共催によるスポーツ大会・教室を実施し、スポーツ振興協議会では地域スポーツ活動を行う	○スポーツ大会の開催や地域スポーツ振興の活動を行い、地域の交流を進めた	Ⅲ	ある	現状維持	横ばい	いきがい学習課	市民スポーツ自主事業
	市民スポーツ助成事業	5	4	市民がスポーツに親しみ、交流の場となるように、市民大運動会とマラソン大会を開催し、多くの人が参加できるように、さらなる充実を図る。	○市民マラソン大会を開催した	Ⅲ	ある	現状維持	横ばい	いきがい学習課	市民スポーツ自主事業
歴史文化の振興	文化財調査・保存事業	3	3	・民間開発・公共事業に伴う埋蔵文化財の調査を実施し、埋蔵文化財の保存と開発事業との円滑な調整を図る。 ・地域の文化財を次世代に継承するため、調査を実施し、重要なものについては市指定文化財に指定しその保存活用を図る。	○埋蔵文化財の試掘・確認調査を行い、市指定文化財に指定するための諮問調査の補正を行った ●遺物の保管場所が小学校の空き教室など複数にまたがり、保管場所の確保が必要 ●発掘調査の報告書や市民への周知、指定文化財の発見等総合調査の体制が必要	Ⅲ	高い	現状維持	横ばい	文化財課	文化財調査・保存事業
	文化財保護普及啓発事業・文化振興事業	4	4	地域の文化財の周知と愛護意識の高揚を図り、市民が地域の歴史・文化等を理解し学習する機会を提供する。	○小学校への出前授業の開催、まつばらかるた大会、フェスタやまつばらテラス（輝）での文化財展示、広報誌たじひのだよりの発行を行い、歴史に触れる機会を提供できた ●出前授業が一部の学校に偏っている ●郷土資料館での展示や講座の見直し	Ⅱ	高い	現状維持	横ばい	文化財課	文化財保護普及啓発事業
		4									

注	(総合評価)	(必要性)
(自己診断)	I 問題なしより拡充を	高い：法令等で決められている
○は評価できるもの	II 概ね良好。さらに工夫を	ある：法令等の規定はないが必要である
●は今後の課題	III 有効性。・効率性の向上を	